

公表日

令和8年 3月 20日

事業所名

こぼんはうさくら 旭川中央教室

保護者等数(児童数) 22名

回収数 22件(割合100%)

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	20			2		これからも継続して安心、安全な環境づくりを行っています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	19			3		更に充実できるように人員を増やしていきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	19			3		ホワイトボードを使って一日の流れやメニューを視覚的にわかりやすく表示しています。活動に必要なものをその時に応じて設定するようにしています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	19			3		これからも継続して子ども達の活動に合わせた安心、安全な環境づくりを行っています。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	21			1		専門的な視点からアプローチできる活動を増やしています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	19			3		計画の共有を行い、目標達成に向けた支援を行っています。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	21			1		子どもたちを理解し、計画の共有、目標達成に向けた支援に努めています。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	20			2		アセスメントやモニタリングを丁寧に行いながら、それぞれの児童や環境に合わせて、ガイドラインに沿った計画を立てて支援を進めています。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	21			1		児童発達支援計画の共有を行い、目標達成に向けた支援を行っています。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	17	1		4	子どもたちにも楽しい活動を考えてくれています。	専門的な視点からアプローチできる活動を増やしています。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	15	1	1	5	毎月野外活動などを計画し、公園や施設へ連れてってくれる為、満足しています。	交流する機会が少ない為、地域の活動などにより参加する機会を増やしていきます。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	21			1		丁寧かつ細やかに説明できるように努めています。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20			2		保護者の方には、丁寧かつ細やかに説明できるように努めています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	18		2	2		保護者から好評をいただいていた為、今後実施回数を増やしていきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	21			1		ご意見を踏まえて、送迎時に連絡ノートや公式ラインを用いて、丁寧にお子様の様子をお伝えできるように努めています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21			1		面談や電話、公式ラインを用いて支援を行っています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	20			2		子どもたちを理解し、計画の共有、目標達成に向けた支援に努めています。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	13	1	2	6		保護者同士が交流を深める機会を提供できるように、実施回数を増やしていきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	21			1		相談を受けた場合は、管理者や児発管をはじめ職員間で情報共有を行い、迅速に対応しています。

保護者への説明等	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	21			1		分かりやすく、丁寧にお伝えするように心がけています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	19	1		2	とでも、丁寧に細かく発信してもらっています。	お便りや、プログラム予定表、イベント一覧表を毎月発信し、活動等を児童や保護者に分かりやすいように努めています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	21			1		個人情報には十分に留意しています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	18			4		教室内の提示や、訓練、研修を行い、お便りを通じて発信しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	16			6		非常災害の発生に備え、定期的に訓練を実施しています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19			3		分かりやすく、丁寧にお伝えするように心がけています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	21			1		定期的な訓練を実施するとともに、問題に対して迅速に対応、丁寧にお子様の様子をお伝え出来るように努めています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	20	1		1		子どもたちが安心して通える場所、通所するのが楽しみと思ってもらえるように努めています。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	20	1		1	次はいつ行けるのかなど、楽しんで通ってもらっています。	通所するのが楽しいと思ってもらえるように、日々工夫をしながら療育を行っています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	21			1	日々のサービス以外にも土日には色々な活動を企画をしてくださり、子どもたちも楽しんで利用出来ています。	安心して通える場所、通わせれる場所になれるように努めています。

公表日

令和8年 3月 20日

事業所名

こぼんはうすくら 旭川中央教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	2	毎日利用人数を複数人で確認しています。	今後、利用人数が増えてくると狭くなってしまう為、教室を増やすことや人数を分けて療育を行うなど工夫をしていきます。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	2		今後、利用人数の増加に合わせて、更に増員していきます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	1	職員室は、情報伝達に適した位置にあります。	ホワイトボードを使って一日の流れや見通しを持つために、さらなる活動に向けた必要な工夫をしていきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	1	LEDで除菌、消毒ができています。ホワイトボードの配置などで工夫をしています。	アイ・セーブと言う照射しているだけで除菌、消臭、防カビ、汚染、花粉分解、抗ウイルスの効果がある照明を使っているのでもっと快適に過ごせることができています。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	1		今後、利用人数の増加に合わせて、個別で過ごせる場所などの工夫をしていきます。
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9	1	研修で振り返るようにしています。	毎日のミーティングの他に職員会議の時間を設けて、個別の関わりや担当を確認するとともに、気になる事があれば振り返る時間をつくっています。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	1		評価表の保護者からの意向に応えられるよう、仕事内容のより良い充実を進めています。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10			気になることがあれば振り返りと、意見交換を怠らずにより良い療育が進められるような時間をかけています。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9	1		現在は行ってはいないので今後、機会を設けていきたいです。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	1		職員が研修、発表するなどして、職員の質の向上とお互いに情報を共有し合う機会を設けていきます。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	1		計画の共有を行い、指導員がいつでも確認しやすいように工夫をしながら目標達成に向けた支援を行っています。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9	1		保護者からのニーズや課題に積極的にアプローチし、次の支援計画に反映させるような心がけています。
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	1		計画の共有を行い、指導員がいつでも確認しやすいように工夫をしながら目標達成に向けた支援を行っています。
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	1		計画の共有を行い、指導員がいつでも確認しやすいように工夫をしながら目標達成に向けた支援を行っています。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	2		アセスメントする側が使いやすいような書式に工夫しています。
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10			児童各々に適切な支援内容を設定し、実施しています。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	1		活動プログラムの内容を分野ごとに分けて、個々で立案したものを持ち帰り、意見交換をしながら活動プログラムを立案しています。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10			活動プログラムの内容を分野ごとに分けて、個々で立案したものを持ち帰り、意見交換をしながら活動プログラムを立案しています。
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	2		児童の特性と保護者や本児のニーズに合わせて個別と集団を適宜に組み合わせで作成しています。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10			朝にミーティングを行い、利用時に対する個別の関わりや担当を確認するとともに、より良い療育が進められるよう時間をかけて進めています。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	2		送迎などで支援終了後に指導員全員が閲覧できるツールを使って確認したり、翌日のミーティングで振り返るなどして情報共有をしています。

関係機関や保護者との連携	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	1		ミーティングで振り返るなどして情報共有を行い、より良い療育が進められるように時間をかけて進めています。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直し必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10			モニタリングの時間や支援計画の見直し時期も半年とは限らず、必要性を判断しながら進めています。
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10			主に、児童発達管理責任者が出席しています。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10			なかなか機会を作るのは難しいが、関係機関と連携して支援を行う体制を検討していきたいです。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10			通所する前には必ず連絡を行い、必要があれば事業所での様子を見学に来て頂いたり、情報交換を電話で行ったりしています。また、ケースによっては担当者会議を開き情報支援を行うなどしています。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10			必ず連絡を行い、必要があれば事業所での様子を見学に来て頂いたり、情報交換を電話で行ったりしています。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	10			なかなか機会を作るのは難しいが、関係機関と連携して支援を行う体制を検討していきたいです。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	10			まだ参加していないので、これから参加してみたいと考えています。
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	8	2		まだ参加していないので、これから参加してみたいと考えています。
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	8	2		なかなか機会を作るのは難しいが、関係機関と連携して支援を行う体制を検討していきたいです。
保護者への説明等	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	8	2	保育園などへの職員交流、参観の企画をしていきたいです。	なかなか機会を作るのは難しいが、検討していきたいです。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10			主に保護者とラインのやり取りをしながら、発達の状況や成長を喜び合い共通理解ができるように努めています。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	1		外部講師を招いてペアレントトレーニングを開催し、参加された保護者から好評をいただきました。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	2		見学の際や契約時に丁寧かつ、細かに説明を行っています。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10			アセスメントやモニタリングを丁寧に行いながら、それぞれの児童や環境に合わせて、カイドラインに沿った計画を立てて支援を進めています。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	10			児童発達支援計画説明を分かりやすく、丁寧にお伝えするように心がけ保護者から同意を得ています。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10			必要だと思われる家庭にはモニタリング以外にも面談を行う家庭もあるが、保護者からの相談には必要な助言と支援を行っています。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	9	1		ペアレントトレーニングを行った際に、保護者同士の交流もできて良かったとの声が聞かれたので、今後も機会を作って進めていきたいです。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10			相談などがあれば必ず児発管、管理者に声が届くように保護者に周知しており、連絡を取って迅速に対応出来るように連携を密なるような体制になっています。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10			毎月15日に次月のプログラム予定表とイベント一覧表、毎月1日にお便りを発行しながら情報を発信しています。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10			個人情報には留意してします。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10			特性を知ったうえで対応出来るように努力を繰り返しています。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	3		なかなか機会を作るのは難しいが、検討していきたいです。

非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10			教室内の提示や、訓練、研修を行い、お便りを通じて発信しています。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10			非常災害の発生に備えて、定期的に訓練、研修を実施しています。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10			アセスメントの際に確認を行い、薬の量や種類が変わることに状況を確認しています。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	1		アセスメントの際に確認を行い、事前にクッキング等では保護者に成分のお知らせをするなどして対策を行っています。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10			定期的に職員の研修を行うことで、適切な対応を確認しています。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10			計画の共有を行い、指導員がいつでも確認しやすいように工夫をしながら目標達成に向けた支援を行い保護者へ周知しています。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10			定期的に職員でヒヤリハットを共有し、再発防止に向けた適切な対応を確認しています。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10			定期的に職員の研修を行うことで、適切な対応を確認しています。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	10			契約時に分かりやすく、丁寧にお伝えするように心がけ署名を頂いています。